(様式第３号)

SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

作成日：令和４年１月7日　　企業・団体名：株式会社小谷穀粉

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	●		・全従業員の採用、教育、昇進・登用、福利厚生などの雇用条件で、差別のない体制を構築し、経営者が積極的に関与しており、差別のないことを確認できている。				4.4	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7	
	2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	●		・ハラスメント禁止の旨を就業規則への明記及び経営者からの発信を行っている。 ・男女それぞれにハラスメント相談窓口を整備している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1	
	3	【ワークライフバランス】 ・男女が共に働きやすく、仕事と家庭の両立の推進などの職場環境づくりに積極的に取り組んでいる	●		・育児休暇、育児休業取得の推進を積極的に行っている。								8.5 8.8								
	4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別、人権侵害がないことを確認している	●		・外国人労働者の適切な処遇や受入環境、労働環境の整備を行っている。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3						
	5	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	●		・毎月労働安全委員会で労働災害対策の協議と、全従業員への共有を行っている。 ・労働安全講習会への参加など、定期で教育訓練を行っている。			3					8								
	6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるための対策に取り組んでいる	●		・産業医と連携したストレスチェックにより、従業員のメンタルヘルスの状態の把握と、対策が必要な場合の方針の策定、運用をを行っている。			3													
	7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が十分に活躍できる環境の整備や、誰もが利用しやすいサービスの提供などに取り組んでいる	●		・多様な人材が活躍できる社内制度を構築している。 ・多様な人材の活躍状況をメディア、求人情報、企業紹介で発信している。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						
	8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	●		・研修制度の整備や資格取得の経費補助により、外部研修の受講による人材育成を積極的に推進している。				4	5.5			8	9							
	9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	●		・社労士等の専門家のアドバイスのもと、働き方改革関連法などの法令内容を理解し、従業員の公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3						
	10	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる		●	・生活習慣病予防健診、ストレスチェックを会社補助で行っている。 ・インフルエンザ予防接種の経費補助を行っている。 ・協会けんぽの健康経営「高知家」プロジェクトに参加、取り組みを行っている。			3					8								
	11	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している		●	・テレワークの導入やウェブ会議の導入を積極的に行っている。 ・対面での打合せ等ではアルコール消毒、マスク着用と換気を行っている。			3					8	9.1		11	12				
	12	【デジタル化の推進】 ・労働生産性の向上を図るとともに、ウィズコロナ・アフターコロナ時代における社会・経済構造の変化に対応するため、デジタル化やオンライン化等を推進している		●	・会議資料や商品提案書等の販促資料の電子化を促進している。								8	9.1		11	12				
環境	13	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	●		・廃棄物に関連する法令遵守を担当者を選任して管理を行っている。 ・産業廃棄物処理時はマニュフェスト、写真等で確実な処分を確認している。											11.6	12.4		14.1			
	14	【エネルギー】 ・電気やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	●		・省エネ診断とその結果を踏まえた省エネ計画の策定を行っている。 ・全社での照明のLED化や節電に取り組んでいる。							7.3						13				
	15	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	●		・簡易計算シートでCO2排出量を算出し、削減計画策定と取り組みを行っている。 ・クールビス、ウォームビズに取り組んでいる。							7.2 7.3					12.4	13.3				
	16	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	●		・法令で規制される有害化学物質を把握し、施錠等の適切な管理を行っている。 ・化学物質の見直しで、取り扱い中止や、使用量の削減に努めている。			3.9			6.3					11.6	12.4					
	17	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないよう配慮している	●		・有機原料等の環境に配慮した商品の開発、普及を通じて生物多様性の保全に努めている。 ・プラスチック代替素材の調査、導入に向けた取り組みを行っている。						6.6									15		

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル		具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			基本	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	18	【３Rの推進】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再利用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる	●		・再生用紙の利用を促進している。 ・ペーパーレス化、裏紙の利用を促進している。 ・環境に配慮した包装資材の導入に取り組んでいる。 ・商品包装の簡易化などの見直しを行っている。											12.5		14.1				
	19	【カーボンニュートラルに向けた取組】 ・カーボンニュートラルの実現を目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる		●	・照明のLED化、小まめな消灯、ヒートポンプへの切替等、適宜設備をカーボンニュートラルに乗っ取ったものに変更している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2
	20	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めるとともに、高知県における水資源の質と量の保全に取り組んでいる		●	・当社性質上、水の大量消費が必要になることはなく、従業員への節水の啓蒙による水資源の保全に取り組んでいる。						6.4 6.6											
	21	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格等を取得している		●				3.9			6	7					12	13.3	14	15		
	22	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している		●													12.6					
	23	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー効率の向上や、再生可能エネルギーの利用・供給に取り組んでいる		●	・照明のLED化、ヒートポンプ、社用車のハイブリッドカーの導入等、適宜エネルギーの効率化や省エネルギーに取り組んでいる。							7.2						13				
	24	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる		●	・無駄な調達を無くし、持続可能な利用ができるように取引先と取り組んでいる。												12.2	13	14	15		
	25	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる		●	・2030年に向けた目標を設定し、食品ロス削減に向けて取り組みを始めている。	1	2				6.4						12.3 12.5		14	15		17
公正な事業慣行	26	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	●		・汚職、贈収賄禁止を含む社内規則を整備し、社内浸透を行っている。															16 16.5	
	27	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	●		・公正な取引に努め、その重要性を経営者が従業員に発信している。 ・仕入先等に不当な値引きが行われていないかのチェック体制を構築している。															16	
	28	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	●		・顧問弁理士と相談し、特許、商標等の知的財産権を取得、管理している。 ・知的財産に関する研修機会を整備し、人材育成の取り組みを行っている。								8.2 8.3	9								
	29	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	●		・個人情報保護への基本方針を定め、管理体制の整備を行っている。															16	
	30	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している		●	・当社では取り扱い無し。															16	
	31	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる		●	・適正なパートナーを選別し、共通認識のもと事業の運営を行っている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
製品・サービス	32	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保する仕組みを構築している	●		・FSSC22000の認証取得、運用を行っている。 ・製品に想定されるリスクをBCP別に抽出し、管理を行っている。 ・商品パッケージ、商品チラシ等に必要な注意情報を記載している。			3.9								12.4					
	33	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	●		・クライアントからのクレームに対応するお客様相談室、品質管理部の整備と、クレーム原因・対策を全社で共有する仕組みを構築している。									9								
	34	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）	●		・コンポスト認証資材の導入の取り組みを行っている。 ・FSC認証資材の導入を推進している。						6						12	13	14	15		
	35	【木質化の取組】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している		●							6.1 6.6	7				11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	36	【社会課題解決・サービス】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		●	・SDGsの取り組みを社業に反映させるために取り組みを開始している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域貢献	37	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し、適切に対応している	●		・地域の事業者、学校、生産者等との対話を実施し、事業が地域へ与える効果や影響の把握と、持続的な連携に向けた活動を行っている。				4					9		11	12		14	15		17
	38	【社会貢献活動】 ・寄付やボランティアなど、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる		●	・地域の教育機関と連携した活動を行っている。 ・コロナ終息後の折には活動を拡大していく予定である。				4							11			14	15		17
	39	【地域資源の積極的利用】 ・高知県産の原材料を優先的に使用し、地産地消・地産外商に努めている		●	・JAや農業法人、地元加工事業者、生産者との連携により、県産原材料を利用した商品開発と全国への地産外商を行っている。								8	9		11	12					
組織体制	40	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透している	●		・職場の掲示板、食堂で法令遵守（コンプライアンス）の重要性を全従業員に向けて発信している。																16	
	41	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している	●		・経営者は経営理念を明文化し、職場の掲示板、食堂への掲示や週1回の朝礼にて全従業員に会社のあるべき姿等の説明を行っている。								8	9								17
	42	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している	●		・経営者が各セッションの担当者、責任者の任命を行っている。																16	
	43	【利害関係者との対話】 ・利害関係者（ステークホルダー）※との対話により、自社の活動が利害関係者に及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・年1回のアンケートの実施と顧客の声に対する改善、対策を行う仕組みを構築している。 ・取引先や行政機関、教育機関などの利害関係者と連携した取り組みを行っている。																16	17
	44	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている		●	・法令遵守の方針やチェック体制を構築している。 ・内部通報制度（匿名性の意見箱）が整備されている。																16	
	45	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定・評価し、マネジメントするプロセスを整備している		●	・法令遵守等に関するリスク評価とマネジメントを行う体制を構築している。																16	
	46	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき、企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる		●	・CSR方針を策定し、会社HPで公表している。																16	
	47	【災害や事故等への備え】 ・地震や水害等の自然災害、事故、新型感染症などに備え、事業継続計画（BCP）を策定するとともに、その実効性を上げるために訓練や見直しを行うなど、事業継続マネジメント（BCM）にも取り組んでいる		●	・マニュアルの策定等、徐々にBCP対策を拡大するように努めている。									9		11		13 13.1			16	
	48	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・次世代の人材育成を積極的に取り組んでいる。								8	9								17
持続可能な社会・地方創生	49	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難計画の策定や事前防災対策を進めている	●		・年1回の防災訓練を行っている。 ・従業員にハザードマップと災害時の避難計画を周知している。				4							11.5		13.1			16	
	50	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成し、地域消防団の活動に参加したり、地域の防災力向上の取り組みを進めている		●	・地域消防団に所属する従業員が中心として取り組みを進めている。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	51	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている		●	・社内にSDGs推進チームを新設し、SDGsの普及に向けた活動を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	52	【産業人材の確保】 ・企業の成長戦略の実現に向け、UIターン就職の促進や若者の県内就職の促進などに関する取り組み、就職氷河期世代の就職支援に関する取り組みを実施している		●	・新規学卒者の採用に向け、高等学校への訪問、高校生の会社見学の受け入れを積極的に行っている。 ・地元の学生を積極的に雇用している。				4.4				8.5 8.6									17
	53	【中山間地域を意識した取組】 ・中山間地域の振興に寄与する取り組みを実施している		●	・中山間地域の素材（緑茶、クロモジ）を活用した商品開発や素材の普及に向けた事業活動を行っている。								8	9		11						